

4月4日はあんぱんの日

4月4日は株式会社木村屋總本店によって「あんぱんの日」に制定されています。なじみ深い日本の菓子パンのあんぱんの歴史は明治に遡ります。今回はあんぱんについて調べてみました。

「あんぱんの日」の由来

1875年(明治8年)4月4日、明治天皇が東京向島の水戸藩下屋敷でお花見をする際、木村安兵衛(現在の木村屋總本店初代当主)がパンの中心に桜の塩漬けを乗せた「酒種桜あんぱん」を明治天皇に初めて献上したことが由来です。

あんぱんの歴史

明治の初め、木村安兵衛と英三郎(木村屋總本店二代目)は、パンを普及させるためにはふっくらとした日本人好みのパンを開発する必要があると考え、日々研究を重ねました。

1874年(明治7年)に、酒饅頭をヒントに洋のパンで和の餡を包んだ「酒種あんぱん」を考案し、現在のあんぱんに受け継がれています。

あんぱんの粒あん、こしあんの見分け方

あんぱんの上に、白ごまやケシの実が振りかけられているのを見たことはありませんか？

あんぱんが誕生した当時、木村屋(現在の木村屋總本店)では、小倉あんぱん(つぶあん)に白ごま、けしあんぱん(こしあん)にケシの実を振りかけて見分けました。現在は小倉あんぱんは2本の切り込みをいれて見分けています。

パンを取り扱う店舗によって異なりますが、食べるときに注目して食べてみるのも面白いですね。

あんぱんが誕生した当時(木村屋)



小倉あんぱん(白ごま)つぶあん



けしあんぱん(ケシの実)こしあん

※株式会社木村屋總本店様よりご提供いただいた情報をもとに作成しております。

こんにちはトーカイです

日頃は株式会社トーカイをご愛顧賜り誠にありがとうございます。

少しずつ寒さが落ち着き、春の訪れを感じる機会が増える季節となりました。

季節の変わり目ですので、体調を崩さぬようご自愛ください。

あんぱんはスポーツ選手の補食？

運動前後の補食は、エネルギーの補給、集中力を高める、疲労回復の促進などの役割があり、スポーツ選手などで取り入れられている方も多くいます。

補食を上手にとるためには、あんぱんのようにエネルギー源となる炭水化物の多いもの、食事で補いきれないビタミン、ミネラルの豊富なものをとることがポイントです。

また、あんぱんは胃に負担がかかる脂質が少なく糖質が多い食べ物です。糖質は、摂取してから早くエネルギーに変わるため効率が良いことから、あんぱんはスポーツ選手の補食におすすまされています。

しかし、過剰摂取は肥満や糖尿病のリスクを高めることから、タイミングと量を考え食べ過ぎにはご注意ください。

小豆の栄養と健康効果

あんぱんの中に入っている『小豆』には、様々な栄養素や健康効果が期待できます。

栄養素	健康効果
食物繊維	便秘解消、満腹感アップ
ポリフェノール	抗酸化作用
鉄分	美肌効果、貧血予防
サポニン	コレステロール低下
ビタミンB1	疲労回復、冷え性改善
カリウム	高血圧予防

千葉西編

トーカイ従業員おすすめ情報をピックアップ!

トーカイのご当地グルメ

Sugar Shack 『フルーツパウンド』

〒273-0002 千葉県船橋市東船橋1-23-13ハートライト TEL: 047-424-2100
営業時間: 10:00 ~ 19:00 (日曜日・祝日は18:00まで) 定休日: 火曜日(月に1回月曜休業有)

今回、千葉西営業所がおすすめするのは、東船橋駅近くにある可愛い内装と季節を取り入れたスイーツが特徴のケーキ屋さんSugar Shackさんの『フルーツパウンド』です。

店名であるSugar Shackは、「メープルシロップを煮つめる砂糖小屋」の意味で、やさしい味わいのメープルに魅せられて、シェフが作るお菓子はメープルを使ったものも豊富です。素材にもこだわり、国産の小麦粉や発酵バター、カナダ産オーガニックシュガーなどを使用しおいしいお菓子を作り上げていらっしゃいます。

その中でも今回ご紹介する『フルーツパウンド』は、たくさんの洋酒漬けのフルーツと発酵バターを贅沢に使い、ずっしりとした食べ応えのあるパウンドケーキです。バターの風味とフルーツが相まってとてもおいしいので、是非ご賞味ください。

HP: <https://www.sugar-shack.jp>



千葉西営業所
おすすめ

左から上北・三上・原



千葉西営業所のある千葉県船橋市は、千葉県内では千葉市に次いで第二位の人口規模で、政令指定都市を除くとともに人口の多い市となります。

千葉西営業所は2024年11月に開設13年を迎えることができました。これからも、親切・丁寧、且つ迅速な対応を常に心掛け、ご利用お客様の身体状況と生活環境に適合した福祉用具のご提案をさせていただきます。

パウンドケーキの名前の由来は？

パウンドケーキはイギリスで生まれたお菓子です。「パウンドケーキ」の名前の由来は、材料の比率にあります。

基本の材料となる小麦粉・砂糖・バター・卵を1ポンドずつ使って作ることから「パウンドケーキ (pound cake)」と名付けられたそうです。

読者プレゼント

20名様

トーカイ通信に関する意見・ご感想などをお寄せいただいた方の中から抽選で20名様にプレゼント。

※詳しくは裏面をご覧ください。

今年は、ついに少子高齢化が進む日本において懸念されていた「2025年問題」に到来しました。さらに15年後の2040年には新たに「2040年問題」の到来が心配されております。

今回は、社会問題となっている「2025年問題」と「2040年問題」とは何か、国の政策などについてまとめました。

2025年問題とは

2025年問題とは、第一次ベビーブームの団塊世代(1947～1949年生まれ)が75歳以上の後期高齢者となることで、日本が直面するさまざまな社会問題を指します。主な問題点は以下などが挙げられています。

1 医療・介護の負担増

高齢者が増えることで、医療や介護サービスの需要が急増し、医療費や介護費が大幅に増加します。

2 労働力の減少

若い世代が減少し、労働力人口が減少することで、経済成長が鈍化し、税収も減少します。労働力不足により、企業の生産性が低下する可能性があります。

3 社会保障費の増大

年金、医療、介護などの社会保障費が増え、現役世代の負担が重くなります。財政赤字が拡大し、持続可能な社会保障制度の維持が難しくなります。

75歳以上の
高齢者人口が
全人口の
約18%
を超える



団塊世代

2025年問題に対する政府の対策

これまでに下記のような対策を通じて、2025年問題に対応しようとしています。

1 地域包括ケアシステムの推進

医療、介護、予防、住まい、生活支援を一体的に提供するシステムを構築し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるようにする。

3 社会保障費負担の見直し

医療費や介護費の効率化を進め、社会保障費の負担を軽減するための改革を行う。

2 医療・介護人材の確保

介護職員の待遇改善や外国人労働者の受け入れ拡大などを通じて、必要な人材を確保する。

4 デジタルガバナンス・コード2.0の策定

デジタル技術を活用して、行政サービスの効率化や医療・介護の質向上を図る。

2040年問題とは

2040年、1970年代前半に生まれた団塊ジュニア世代(現在の50～55歳)が65歳以上となることによって引き起こされる社会問題です。社会保障費の増大や労働力不足だけでなく、インフラや公共施設の老朽化などの課題も含まれます。

1 高齢者人口のピーク

2040年には、65歳以上の高齢者が全人口の約35%に達すると予測。特に後期高齢者が増加し、医療や介護の需要が急増します。

2 現役世代の急減

生産年齢人口(15～64歳)は急減し、2040年には全人口の約55%にまで低下する見込み。これにより、労働力不足や経済成長の鈍化が懸念されます。

3 社会保障費の増大

高齢者の増加に伴い、医療、介護、年金などの社会保障費が大幅に増加します。財政負担が重くなり、持続可能な社会保障制度の維持が難しくなります。

4 高齢者の貧困化

特に団塊ジュニア世代は、非正規雇用が多く、貯蓄が少ないため、老後の生活資金に困窮する可能性があります。

5 自治体の老朽化

1970年代に一斉に整備された地方都市の衰退やインフラの老朽化が進み、維持・管理費の増大が懸念されます。

65歳以上の
高齢者人口が
全人口の
約35%
を超える



団塊ジュニア世代

2040年問題に対する政府の対策

2040年を展望し、誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現を目指しています。

- 現役世代(担い手)の急減に対応するため、「総就業者数の増加」とともに、「より少ない人手でも回る医療・福祉の現場を実現」することが必要。
- 今後、国民誰もが、より長く、元気に活躍できるよう、以下の取組を進める。

1 多様な就労・社会参加の環境整備

70歳までの就業機会の確保や人生100年時代に向けた年金制度改革などを行う。

3 医療・福祉サービスの改革による生産性の向上

ロボット・AI・ICT等の実用化推進、データヘルス改革などを行い、単位時間当たりのサービス提供を5%(医師は7%)以上改善を目指す。

2 健康寿命の延伸

健康無関心層も含めた予防・健康づくりの推進などの取組を行い、健康寿命を男女ともに3年以上延伸し、75歳以上とすることを目指す。

4 給付と負担の見直し等による社会保障の持続可能性の確保

賃金・物価上昇への対応や改革の全体像を捉えて政策立案と推進を行う。

- 社会保障の枠内で考えるだけでなく、農業、金融、住宅、健康な食事、創業にもウイングを拡げ、関連する政策領域との連携の中で新たな展開を図る。

参考：厚生労働省「我が国の人口について」「2040年を展望した社会保障・働き方改革について」
内閣府「持続可能性の確保に向けた社会保障改革」資料8

トカイ通信に関するご意見・プレゼントの応募について

プレゼントの合い言葉「2503」 プレゼント応募締切:2025年3月31日(月)

トカイ通信に関するお声をお寄せいただいた方の中から抽選で「フルーツパウンド」を合計20名様にプレゼントいたします。右記方法にてお声をお寄せください。ご感想もお待ちしております!!

【プレゼントのご応募について】

ホームページに掲載の「トカイ通信2025年3月号」からご応募することができます。必要事項をご記入いただきお送りください。

(ご連絡は、@tokai-corp.comがドメインのアドレスより送信させていただきます。)

【個人情報の使用目的について】

ご記入された個人情報は以下の目的にのみ使用し、以下の場合を除いて、第三者に提供いたしません。

- 統計データを作成し、今後のトカイ通信の作成や商品やサービスの向上を図るため
- プレゼント当選者への商品の発送のための配送業者への住所・氏名・電話番号の開示のため

※本紙に使用しているQRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

【送付先】



株式会社 トカイ

トカイ通信プレゼント

検索

- アクセス方法 (株)トカイホームページトップ画面 ⇒ 介護用品レンタル⇒ 2025年3月号
- URL <https://www.tokai-corp.com/silver/> (ホームページの一番下にあります)



●発行・編集/株式会社トカイ シルバー事業本部 営業推進部
〒500-8828 岐阜県岐阜市若宮町9丁目16番地 (電話)058-377-2986 (FAX)058-263-0151
※本紙に基づくお客様の決定や行為、それに伴う結果について、当社は一切の責任を負いかねます。